

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	屈折梯子付ポンプ自動車のプラットフォーム基部操作部付近からの落下事故
3. 体験した事例の中心的要素	高所において不安定な態勢での作業と1.5mを高所と認識していなかったこと。
4. 体験した事例の原因・理由	災害現場活動でもなく演習訓練でもなく、「普段の車両整備」の一環として、高所作業であるにもかかわらず安全管理を怠ったため。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
-------------------------	------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年9月7日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：庁舎敷地内駐車スペース用コンクリート部
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	その他:車両整備時
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：車両可動部のグリスアップ中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[31]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 []
○当事者B	年齢[29]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[5] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A、B	勤務開始	
経過2	当事者A、B	無線テスト及び機関点検実施	
経過3	当事者B	屈折梯子付ポンプ車を作業場へ移動	
経過4	当事者A	車両誘導及び周囲の安全確保	
経過5	当事者A、B	手分けして当該車両のグリスアップ開始	
経過6	当事者A	プラットフォーム基部操作部に取扱説明書を置き、その付近のグリスアップを行う	
経過7	当事者A	説明書を読もうと身を乗り出したところ左足を踏み外し、高さ約1.5mから後方へ落下	
経過8	当事者B、C	別々に作業をしていたため、当事者Aの落下の瞬間は見えておらず。	
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力がなかった。 足元の安全が確保できていなかった。 後方からの監視が行き届いていなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

災害現場活動でもなく演習訓練でもなく「普段の車両整備」であるため安全配慮を怠った。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・高所作業時の安全管理と安全管理者の配置を所属署内で徹底した。・事例を安全衛生委員会に報告し消防局内での共有を図った。 |
|--|

○指揮・情報伝達の対策について

--

事故発生状況図

